

渭伊神社

いいじんじや

創立不明ながら貞観8年(866)に正六位に叙せられたとの記述が残る由緒正しい神社。井伊家の始祖・共保公が寛弘7年(1010)に神社の井戸から生まれたといわれ、以来、地域の守護神として信仰を集める。かつては龍潭寺境内にあったが、南北朝兵乱時に現在地に移されたと伝えられる。本殿奥に「天白磐座遺跡」がある。

浜松市北区引佐町井伊谷1150

アクセス／遠鉄バス「北神」より徒歩約5分



●天白磐座遺跡(てんぱくいわくらいせき)

最大で高さ7.4mの巨石3つを数十個の岩が囲む。平成元年の発掘で古墳時代から平安時代までの遺物が出土。古代の祭祀場と判明した。静岡県指定史跡

境内は木々の緑に囲まれ、川のせせらぎが響く。ゆっくりと時間が流れ、過ぎ去った時代をしのぼせる

井の国を守る聖地

井伊家発祥とともに氏神となった由緒ある古来の神社。

本殿奥の天白磐座遺跡も、井伊家が名家であることを伝えている。

渭伊神社と天白磐座遺跡

境内に足を踏み入れると、葉擦れと川の音に包まれる。本殿の奥に続く坂を上れば、目の前に巨石の一群が姿を現す。神聖な空気に包まれた荘厳な景観に、ここがはるか昔から「井の国」の祭祀場であったことを納得する。渭伊神社が龍潭寺境内から遷座したのは、この天白磐座遺跡があつたためともいわれ、井伊家にとっては本場に特別な場所だつたことが実感できる。

井の国の守り人、井伊氏

遺跡中央からは12世紀末の経筒きようとう外容器も出土。作善者は井伊氏ともいわれる。始祖・共保公は、寛弘7年(1010年)から八幡宮の宮司に育てられた後、遠江国司・藤原共資の養子となり家督を継ぐ。井伊谷に土着し約600年統治した。渭伊神社を信仰した井伊家は、いわば井の国の守り人といえる。直虎公が人生を賭けこの地を守ったのは、この歴史ゆえかもしれない。

直虎 新商品

直虎Tシャツ 直虎ハンカチ・タオル

直虎をイメージしたデザインを前面に、両袖に家紋を、背面上部に署名と花押(蜂前神社所蔵)をプリントしたTシャツ。カラーはブラック、ホワイト、バーガンディー、パープル、ライトピンクの5色をラインナップ。ハンカチ・タオルは署名と花押がデザインされている。

- Tシャツ(左上)／2778円
(右上・右下)／2315円
- ハンカチ／741円 ○タオル／1389円

[取扱店] (株) マット事務所
浜松市北区引佐町井伊谷745-3
TEL 053-542-2921



来年のおもてなし体制を整えるため、直虎公ゆかりの地を案内するガイドの育成もスタート。奥浜名湖かたり部の会主催の講座には50人を超える有志が参加した。

平成28年度 浜松商工会議所×静岡大学情報学部 地域連携事業
※静岡大学の学生が制作する情報誌「浜松鈴鈴」と連携しています。
<http://www.hama8rin.info/> 写真協力/NPO法人ITO E